

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率

算式

【分子】 分母対象例のうち、手術年月日から数えて4日以内に
「H002運動器リハビリテーション料」を算定している患者（EFファイル）

【分母】 様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が次のいずれかの退院患者（ICD-10：①M2435、②M2445、③S7200、④S7210、⑤S7220、⑥S7230、⑦S7270、⑧S7280、⑨S7290、⑩S730=MDC160800）及び、当該入院期間中に「K0461（大腿）」、「K0731（股）」、「K0811（股）」のいずれかを算定している患者（EFファイル：部位はレセプト電算コードにより識別）

※分母除外項目

1. 手術後3日以内に退院した患者
2. 当該入院期間中の様式1の手術情報に異なる手術日が2日以上ある

定義

大腿骨近位部骨折の入院患者のうち、手術日から4日以内にリハビリテーションが実施された患者の割合

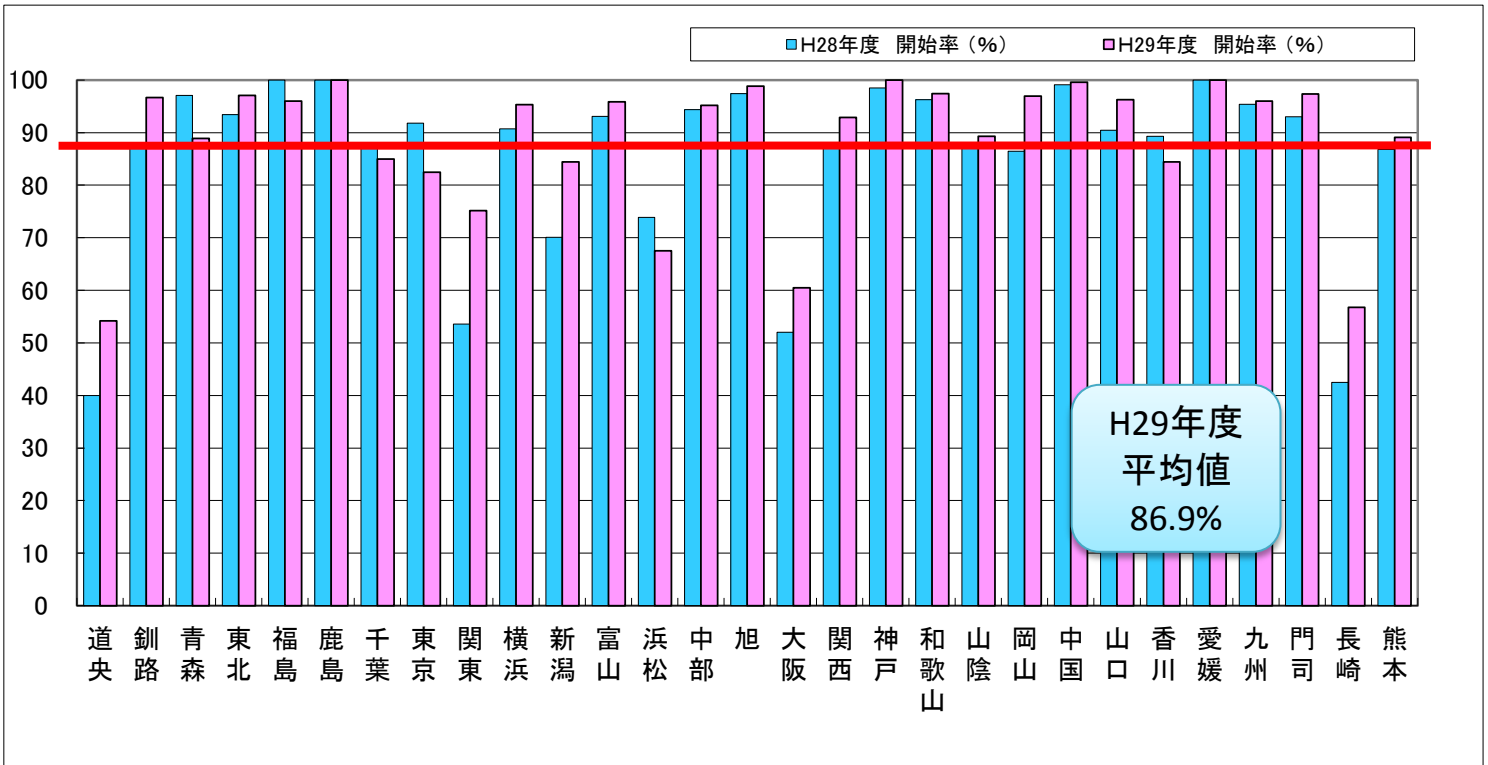
指標の解説

DPCデータより抽出

大腿骨近位部骨折患者に対して術後速やかに座位をとらせ、早期から起立・歩行を目指して下肢筋力強化訓練を行うことにより早期回復、早期退院に向けた取組を行っている状況から評価する。

実施率が高い場合には、患者の早期社会復帰に積極的に取り組んでいると評価できる。

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率



No	施設名	H28年度			H29年度		
		分母	分子	開始率 (%)	分母	分子	開始率 (%)
1	道 央	20	8	40.0	24	13	54.2
2	釧 路	33	29	87.9	30	29	96.7
3	青 森	34	33	97.1	27	24	88.9
4	東 北	76	71	93.4	69	67	97.1
5	福 島	12	12	100.0	25	24	96.0
6	鹿 島	15	15	100.0	13	13	100.0
7	千 葉	65	57	87.7	40	34	85.0
8	東 京	73	67	91.8	57	47	82.5
9	関 東	112	60	53.6	137	103	75.2
10	横 浜	43	39	90.7	64	61	95.3
11	新 潟	87	61	70.1	90	76	84.4
12	富 山	58	54	93.1	48	46	95.8
13	浜 松	88	65	73.9	77	52	67.5
14	中 部	71	67	94.4	83	79	95.2
15	旭	155	151	97.4	168	166	98.8
16	大 阪	25	13	52.0	43	26	60.5
17	関 西	31	27	87.1	42	39	92.9
18	神 戸	66	65	98.5	56	56	100.0
19	和 歌 山	108	104	96.3	117	114	97.4
20	山 陰	70	61	87.1	75	67	89.3
21	岡 山	155	134	86.5	130	126	96.9
22	中 国	224	222	99.1	223	222	99.6
23	山 口	126	114	90.5	133	128	96.2
24	香 川	112	100	89.3	109	92	84.4
25	愛 媛	28	28	100.0	17	17	100.0
26	九 州	108	103	95.4	124	119	96.0
27	門 司	43	40	93.0	38	37	97.4
28	長 崎	212	90	42.5	296	168	56.8
29	熊 本	136	118	86.8	110	98	89.1
合 計		2,386	2,008	84.2	2,465	2,143	86.9
平均	500床以上	60	46	77.4	73	63	85.6
	400床以上	114	107	93.1	109	101	93.0
	300床以上	90	72	79.4	93	76	81.9
	300床未満	58	51	87.1	58	54	92.0

※対象症例が複数ない施設については除外した。